

★好きこそものの上手なれ★

1. 自己紹介・ボランティア活動を通して（だんな）

- ・大道芸を通して

- ・聴覚障害児との交流会（いばらキッズのWA）の活動を通して

- ・高校生のためのボランティア講座（ヤングボランティアセミナー）を通して

2. 自己紹介・ボランティア活動を通して（ぐりたろう）

- ・大学時代のサークル活動（野外教育研究会）を通して

- ・国立赤城青少年交流の家ボランティアを通して

3. ワークショップ

- ★「得意を生かした活動」を考え出しましょう★

4. まとめ

5. 大切にしていること（別紙参照）

大切にしていること

ボランティアとは＝生き方そのもの

●地産地消（可能な限り国産品、地元産を）

●フェアトレード

→発展途上国の農産物や雑貨などを、適正な価格で継続的に輸入・消費する取り組み。

低賃金労働を強いられる傾向のある途上国で雇用を創出し、途上国の貧困解消や経済的自立を促すねらいがある。（Yahoo 百科事典より）

近年では、日本の地域格差に配慮した“国内フェアトレード”も行われている。

（朝日新聞の購読者に配布される『スタイルアサヒ5月号より』）

●エコロジー

●環境5R+1

5Rは洞爺湖サミットでも多用されたキーワード。私はプラスワンして実行している。

①リデュース（廃棄物を減らす）…そもそも買わない、布オムツ使用 etc

②リユース（再利用する）…お下がり、マイ水筒、広告の裏、穴あき靴下やゴワゴワタオルは雑巾に etc

③リペア（直して長く使う）…洋服、子どものおもちゃ etc

④リサイクル（再資源化する）…ペットボトル、容器類、ほとんどの紙類 etc

⑤リフィューズ（不要な物を断る）…マイ箸、マイバッグ、包装紙、モノだけでなく、添加物・化学物質も

⑥リメイク（ひと手間かけて作り変え、長く使う）…空き箱、牛乳パック、洋服 etc

●エシカル（ethical）

→エコやリサイクル、フェアトレードなどの意味を含み、さらに大きな視野から地球全体の幸せを考える取り組み。エシカル・コーディネーターの原田さとみさんは次のように述べている。

「私たちはモノを買って幸せかもしれませんが、でもそれが、搾取や環境破壊など、何かの犠牲の上に成り立っていたとしたら、本当に幸せでしょうか？目の前の物事だけでなく、その背景に思いを巡らせて、社会や環境に優しいのだろうか、そこに関わる人々は幸せだろうか、と考える行動することがエシカルです。」

●グローカリー（Think Globally and Act Locally.の合成語）

→視野は広く持つが、実際の行動は足元から。自分のできることを継続的に行う。

●情報発信

自分が良いと思ったことは、周囲の人に広めていく。言葉でも商品でも。私は、アクリルたわしを編みまくって、色々な人に配っている。

<先の大震災に際して感じたこと>

大災害という“非日常”により、誰もが「私も何かしなければ！」と感じたはず。でも、これまでも“日常”の中には支援を必要としていた人は多くいた。作業所で働く人や、途上国の人々……

“日常”で自分の行動様式を改めることで、それが支援に繋がるのだという意識が必要なのではないか？例えば、購買行動を見直し、作業所の製品やフェアトレード製品、国産品を購入したり、地元の直売所を利用したりする。